

目黒区総合庁舎 (旧千代田生命本社ビル)

建築ガイドツアー

参加者募集

Meguro City Office Complex Guided Architecture Tour

主催：(公財)目黒区芸術文化振興財団 目黒区美術館 共催：目黒区



①②③ photo : Ryota Atarashi

すぐれた建築には物語がある。思考と創造があり、謎がある。
村野藤吾の傑作をもっと深く知るための小さな旅——

目黒区総合庁舎(1966年竣工/旧千代田生命本社ビル)は、建築家・村野藤吾(1891-1984)が情熱を傾けたオフィスビルの傑作です。2004年から続いている本建築ガイドツアーは、毎回多くの方々にご参加いただきました。2020年と2021年は新型コロナウイルスの感染拡大の影響により一時休止としましたが、2022年の春、3年ぶりに再開します。今回は、催行グループ数・定員数を絞っての開催です。目黒区美術館ボランティア会所属の建築の専門家が解説役となり、目黒区総合庁舎の見どころをご案内します。皆様のご参加をお待ちしております。※今回は、新型コロナウイルス感染症対応で行政利用している「和室」「茶室」など、一部の施設は見学ルートに含まれません。

●開催日時

2022年4月29日(金・祝) / 5月7日(土) / 5月20日(金) / 5月28日(土)
各日14:00~15:30

●解説＝目黒区美術館建築ガイドスタッフ(目黒区美術館ボランティア会)

●参加費＝600円(保険、資料代を含みます) ●対象＝中学生以上 ●定員＝各日20名 事前申込制(申込期間あり/応募者多数の場合は抽選です)

●内容＝複数のグループに分け、1グループにつきガイドスタッフ1名をご案内します。

各グループで、「ワイヤレスガイドシステム」(ガイドの解説をイヤホンを通して聞ける)を使用します。

●目黒区総合庁舎の所在地＝東京都目黒区上目黒 2-19-15 アクセス：東急東横線・東京メトロ日比谷線「中目黒」駅 徒歩5分

●申し込み方法

●Webサイトから：目黒区美術館ウェブサイトの申込専用フォームで

●FAXで：03-3715-9328(①～⑥を必ず明記) ●ハガキで：〒153-0063 東京都目黒区目黒2-4-36

目黒区美術館「建築ガイドツアー」担当宛て(①～⑥を必ず明記)

●申し込みに必要な情報

①講座名 ②希望日 ③氏名 ④電話番号 ⑤メールアドレス、FAXなどの連絡先

(ハガキ申込の方は住所を明記) ⑥参加人数(グループ参加は2名まで。氏名は代表者のみ)

●申し込み期間

*4/29、5/7は、4月9日(土)午前10時から4月15日(金)まで

*5/20、5/28は、4月30日(土)午前10時から5月6日(金)まで

※募集締切後に抽選を行い、3日以内を目途に、参加者に当選通知をお送りします。

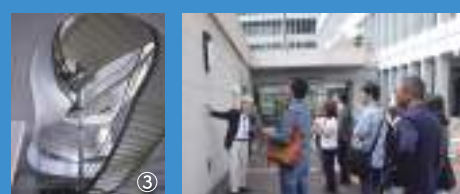
(抽選にもれた方への通知はいたしません)

●新型コロナウイルスの感染拡大の状況によりましては、中止になる場合がございます。最新の情報につきましては、当館ウェブサイトをご確認ください。

●問い合わせ先＝目黒区美術館 建築ガイドツアー担当

〒153-0063 東京都目黒区目黒2-4-36 電話：03-3714-1201(代表)、03-3711-9558 (内容についてはこちらへ)

メール：mmat-event@mmat.jp <https://www.mmat.jp>



Meguro Museum of Art, Tokyo
目黒区美術館

村野藤吾 建築ネットワーク 2022

村野藤吾(1891-1984)の建築は、上越・信越をはじめ、おもに関東から西日本にかけて多く分布しています。2015年に発足した〈村野藤吾建築ネットワーク〉も今年で7年目。これまで、目黒区総合庁舎の建築ガイドツアーの時期に合わせて、各地の村野建築に関わる施設等と連携し、それぞれ見学会や講演会を開催していただくなど、ゆるやかにつながってきました。まだ新型コロナウイルスの感染拡大が収まらない今年は、8件の村野建築の情報をご紹介します。

*施設名の()は、竣工当時の名称・竣工年です。*写真は、紹介する施設の外観写真です。



写真:カトリック宝塚教会(1965年)

尼崎市立大庄南生涯学習プラザ (大庄村役場・1937年)

兵庫県尼崎市

※耐震補強工事のため休館中(2022年5月再開予定)

村野が初めて手がけた庁舎建築。2003年、国の登録有形文化財に登録。塩焼きタイルで覆われた非対称の外観や旧約聖書に由来する装飾の数々、手すりや弧を描く階段などに村野らしさが見て取れます。2021年から耐震補強工事を行い今年5月にリニューアルオープン予定です。同市には、村野が後に手がけた尼崎市庁舎(1962年)もあります。

尼崎市立歴史博物館では同プラザを所管する尼崎市大庄地域課と共同でリニューアルオープン記念事業を予定。最新情報は下記HPでご確認ください。

©尼崎市立歴史博物館
https://www.city.amagasaki.hyogo.jp/manabu/bunkazai_0/index.html



宇部市渡辺翁記念会館 (宇部市民館・1937年)

山口県宇部市

戦前の代表作の一つで、戦後は村野による改修と増築が加えられながら、大切に使われてきました。1994年に大改修工事を行い、現在も往時の姿を良く留めています。2005年に村野の建築として初めて国の重要文化財に指定されました。

隣接する宇部市文化会館(1979年)のほか、市内には宇部窒素工業事務所(1942年/現・宇部興産宇部ケミカル工場本事務所)など宇部興産と関わりが深い村野建築が数多く残っています。

宇部市内の村野建築に関するイベントは、山口近代建築研究会等の団体が随時企画実行しています。

©山口近代建築研究会
<http://yamakinken.site/>



関西大学 (1955~1980年)

大阪市吹田市

1922年に千里山に学舎を建設して以来、徐々に拡張して現在のキャンパスが成立。村野はそのうち1949年から1980年にかけて、起伏のある地形を生かしつつ約40の建物を実現しました。そのうちの約半分の建物が現在も残っています。大学博物館となっている建物は、1955年に村野によって増築された旧図書館で、大阪府の指定文化財に指定されています。

同博物館のFacebookでは、動画「関西大学村野建築ガイド」などで村野建築を紹介しています。最新の展覧会情報等は同館HPをご覧ください。

©関西大学博物館
www.kansai-u.ac.jp/Museum/
[開]10:00~16:00
(入館は15:30まで)
[休]日、祝、夏季・冬季休業日、
その他大学で定めた日



カトリック宝塚教会(1965年) 宝塚市庁舎(1980年)

兵庫県宝塚市

村野が戦前から居を構えた宝塚市内には、宝塚ゴルフ倶楽部クラブハウス、カトリック宝塚教会、宝塚市庁舎の3つの建築が現存しています。そのうち、カトリック宝塚教会は白鯨にも例えられるなだらかな曲線の外観を持ち、木の感触とうねるような天井が厳粛な内部空間を作り出しています。一方、武庫川河畔に佇む宝塚市庁舎は、中層のL字型の建物で、屋上に突き出た円筒部分には議場が収められています。

2019年から宝塚まち遊び委員会はこの2つの建築を案内するツアーを開催してきました。村野の意匠に満ち溢れた「祈りの場である教会」と「市民の公共空間である市庁舎」の異なる建築に出会えるのが宝塚の魅力です。

©一般社団法人 宝塚まち遊び委員会
<https://www.machiasobi.net/>

日本橋高島屋増築(日本生命館/高島屋 東京店増築・1952~65年)

東京都中央区

元は昭和初期に建てられた高橋貞太郎設計の日本生命・高島屋の建物で、正面はこの建築様式を尊重しながら1952年より村野事務所によって増築されたのが現在の建物です。旧館部分と増築部分の融合と対比が見どころです。2009年、百貨店建築として初の重要文化財に指定されました。2019年、大阪の高島屋史料館(1970年創設)の分館として、本館4階・5階部分に開館した高島屋史料館TOKYOは、日本橋地域における文化発信拠点として、企画展や各種講座を開催しています。

©高島屋史料館TOKYO
<https://www.takashimaya.co.jp/shiryokan/tokyo/>
[開]11:00~19:00
[休]月・火、展示替期間、年末年始



目黒区総合庁舎 (千代田生命本社ビル・1966年)

東京都目黒区

戦後の村野の代表作、千代田生命保険相互会社の本社ビルだった建物で、2003年に目黒区総合庁舎として開庁。その際、目黒区は、建築の文化的価値を尊重しながら用途変更の改修工事を行い、村野の意匠の重要な部分は今も当時の姿をとどめています。目黒区美術館は、2004年に開催した村野建築に関する最初の展覧会「建築家・村野藤吾のディテール〈旧千代田生命本社ビル写真/図面〉展」で建築ガイドツアーを実施。以来、毎年建築ガイドツアーを行っています。

©目黒区美術館
<https://www.mmat.jp>
[開]10:00~18:00
(入館は17:30まで)
[休]月(祝休日の場合は翌日)、
展示替期間、年末年始



八ヶ岳美術館・原村歴史民俗資料館 (八ヶ岳美術館・1979年)

長野県諏訪郡原村

山脈や連峰を思わせる半円形のドーム屋根が連なる外観のこの美術館は、原村出身の芸術家・清水多嘉示の彫刻・絵画ほか、村内遺跡出土の縄文土器や石器を常設展示しています。

展示室空間は、彫刻展示のための円い空間と絵画などの平面展示用の直線壁とが組み合わされた独特の形状となっています。天井にレースのカーテン生地を絞り吊りすることで、照明の明かりを柔らかく変化させ、落ち着いた雰囲気の中、作品鑑賞ができるようになっています。

©八ヶ岳美術館
(原村歴史民俗資料館)
<https://yatsubi.com/>
[開]9:00~17:00(入館は16:30まで)
[休]展示替期間、年末年始



玉翠園・谷村美術館 (谷村美術館・1983年)

新潟県糸魚川市

田園地帯の一角に建てられた、彫刻家・澤田政廣の木彫作品を展示するための私設美術館。

木造の回廊に囲まれた前庭に、粗い質感の壁で覆われた抽象的な外観の美術館が建っています。シルクロードの砂漠の遺跡をイメージして設計されています。内部空間は、壁と天井が一体化した曲面となっていて、6つの展示室が有機的につながり、天井や壁の隙間から取り込まれる自然光は、館内の曲線を優しく印象づけます。村野92歳、最晩年の作品です。

©玉翠園・谷村美術館
<http://gyokusuien.jp/>
[開]9:00~16:30(入館は16:00まで)
[休]12月~3月中旬の毎週火曜
(祝休日の場合は翌日)、年末年始



※村野建築の情報は、竣工年順に記列し、「建築の所在地 | 紹介文 | 催事等の主催者情報(施設または関連団体の名称、URL)」の順に記載しました。

※ここで紹介する村野建築に関する催事等は、施設の主催で行う場合と、関係団体等が主催となって行う場合があります。催事の予定、申込方法などの情報については、それぞれの施設等のHPでご確認ください。

※ここに掲載する博物館・美術館の開館時間・入館料・アクセス等は各館HP等でご確認ください。

【全体の問い合わせ先】

目黒区美術館 村野藤吾建築ネットワーク担当

[電話] 03-3711-9558(学芸係)

[メール] mmat-event@mmat.jp

目黒区美術館

〒153-0063 東京都目黒区目黒2-4-36

<https://www.mmat.jp>

協力: MURANO Design、&4+do